

- 東日本大震災 被災地支援の動き(P.1)
- 平成22年度コンサルタント派遣成果報告会開催！
北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』行動提案アイデア募集！(P.2)
- 東灘山手地区の45年を想う その3(P.3)
- こうべまちづくりセンターレポート『宙(そら)』最新刊のお知らせ ほか(P.4)

発行：こうべまちづくりセンター

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

東日本大震災 被災地支援の動き

1. 東日本大震災に対する神戸市の支援

本年3月11日に発生した東日本大震災では、1万5千人を超える尊い命が犠牲となり、未だに9千人近くの方が行方不明となっています。神戸市でも、市をあげて被災地支援を行っており、市の危機管理室の発表をみると、5月9日までの間に、被災地4県に延べ8607人・日の職員を派遣するとともに、計48万3千を超える物資を支援しています。

詳しくは <http://www.city.kobe.lg.jp/safety/higai230311.html>

2. 諸団体の動き

当センターが関係する諸団体においても『今、自分たちに何ができるか。何をなすべきか。』が、盛んに議論され、実行に移されています。

こうした議論や活動のいくつかを紹介します。

◇「兵庫県建築士会 東日本大震災緊急報告会」開催

当センター他4団体の共催で5月12日に開催された「兵庫県建築士会 東日本大震災緊急報告会」では、被災地に支援・調査に赴いた専門家・行政担当者4名が報告を行いました。被災地の被害状況や専門家相談、復興に向けた提言、復興計画案作成への協力など、幅広い報告がありました。

報告者からは、『犠牲になった原因よりも、どのようにして生き延びたのかを探り、逃げ方を考えないと、安全なまちはつぐれない。』『被災地には、地域の人々を支え、まちの復興に携わることができる専門家の数が少ない。』などさまざまな意見や課題、提案が出されました。



緊急報告会の様子

◇「まちセン研究ネット」の動きから

一方、まちづくりセンターが活動場所の提供などの支援を行っているまちづくり研究団体から成る「まちセン研究ネット」でも、被災地支援について

活発な議論が交わられています。

研究ネットの一つ「神戸防災技術者の会(K-TEC)」は、多分野にわたる行政担当者とそのOBなどから構成されています。毎月の定例会は84回を重ね、阪神・淡路大震災に関するさまざまな分野からの報告と議論を通じて、震災から得た教訓の共有化に努めています。現在は、被災地に向けて、会の発刊書籍『伝承 阪神・淡路大震災～われわれが学んだこと』により教訓の発信を行うとともに、被災地支援のシンクタンクとしての役割を果たしています。



K-TECの議論風景

3. こうべまちづくりセンターの復興まちづくり支援

現在被災地では、ガレキ処理や仮設住宅の建設などが目下の課題となっていますが、それらが解消するにつれ、課題は、本格的な復興まちづくりへと変化していくものと思われます。

まちづくりセンターでは、神戸のもつ復興まちづくりに関する情報やノウハウを発信するため、センターのホームページに「震災関連情報とまちづくり支援」のページを設けています。

そこでは、神戸の復興まちづくりの推進に大きな役割を果たした「まちづくり協議会方式（地域の住民で構成されるまちづくり協議会等が主体となり、そこにまちづくりの専門家や行政が加わった三位一体のまちづくり）」と、それを支えた「専門家派遣」や「まちづくり活動助成」の制度を紹介しています。また、実際の復興過程の記録として、『震災復興まちづくりニュース』や震災復興土地区画整理事業により復興を遂げた地区の紹介も掲載しています。

今後も、関係団体と連携を図りながら、復興まちづくりに活かせる情報の発信などの支援に努めていきます。詳しくは

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/1jouhou/fukkou-news.htm>

平成22年度コンサルタント派遣成果報告会開催!

まちづくり会館では、「まちづくり協議会」等に対して、専門家を派遣し、まちづくりの技術的・専門的な支援を行っています。

この制度により、平成22年度に派遣された専門家(まちづくりコンサルタント)が、各地区の活動状況や自身の果たした役割などについて発表する「コンサルタント派遣成果報告会」が、5月17日にまちづくり会館で開催され、地域団体、専門家、学生など幅広い層の約80名が参加しました。報告会は2部構成で行われ、パネルディスカッションでは、活発な意見交換が行われました。

■第1部 テーマ【安全・安心なまちをつくる!!】

第1部では、道路の中心線確定・道路拡幅などの「道からのまちづくり」と市場の共同化・避難路確保への取り組みなど、「ソフトとハードの組み合わせによる多様なアプローチ」がテーマでした。道路拡幅計画の見直しにあわせて、地域の伝統的な景観と安全なまちの両立のため、密集地域にあった防災計画、防災訓練などのソフト面と建築ルールによる防火壁の設置検討などのハード面の組みあわせが発表されました。また、地域のまちづくりへの思いとそれが実現するまでの時間にはギャップがあるため、公園の防災機能強化などの短期的成果と長期的なまちづくり構想の組みあわせによる地域のモチベーション維持が大切との発表がありました。

■第2部 テーマ【地域の魅力を守る、引き出す!!】

第2部では地域の魅力を守るためのルールづくりとその後の運用、魅力を引き出すための取り組みが発表されました。地区計画、まちづくり協定の運用については、硬直したルールを決めるのではなく、地域の実情、将来的な課題にも対応できるよう柔軟なかたちにするることによって実効性を高めることができ、一定期間経過後には、見直しや地域で考え方を共有できるようにしていくことが大切であると提言されました。また、地域の魅力を引き出すために、イベント等を活用して地域内だけでなく外部の意見をうまく取り入れ、そこで得た意見等を地区計画、まちづくり協定の運用にフィードバックして活用したり、身近にある地域資源の魅力再発見・価値観の共有化、外部発信の取り組みが発表されました。



北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』 行動提案アイデアを募集します!

北野・山本地区では、地区内の伝統的な景観をまもり、そだてるために、昭和56年に地元住民や商業者組織が集まって「北野・山本地区をまもり、そだてる会」を結成し、さまざまな活動に継続して取り組んでいます。

今回の「北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』行動提案アイデア募集」では、先人達が培ってくれたまちの魅力や歴史的資源、「だれにもやさしい思い合いのまちづくり」の取り組みをさらに大きく育てていくための提案を募集し、今後のまちの将来像構想やまちづくり活動の活性化へとつなげていきます。

■テーマ

部門1 <<歴史的資源の活用策>>

部門2 <<思い合いのまちづくり>>

■提案手法：文章、図版、スケッチ等、表現方法自由。A3用紙(片面使用)で1~3枚まで。(※各裏面に氏名等必要事項を記入)

■表彰：部門ごとに最優秀提案1点(賞金10万円)、佳作3点(賞金各3万円)

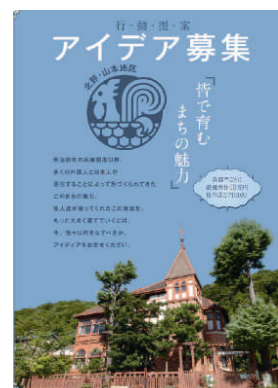
■提出方法と期限：郵送で「神戸北野美術館 提案募集係」(〒650-0002 神戸市中央区北野町2丁目2-9-6)まで。2011年9月15日の消印有効。

■問い合わせ先：神戸北野美術館

TEL/FAX 078-251-0581

詳しくは (<http://www.kitano-yamamoto.com>)

(北野・山本地区をまもり、そだてる会)



～東灘山手地区の45年を想う～ その3

神戸市 都市計画総局 市街地整備部 浜山都市整備課 橋本 宗明

前回までは地域の人と市との「協働」の形の一つである東灘山手地区の「まちづくり協議会方式」についてご紹介しましたが、今回は最終回として、「安全・安心なまち」について書いてみたいと思います。

○安全・安心なまち

事業開始から45年を要してしまいましたが、まちは今、新たな姿で生まれ変わりました。

山手幹線、弓場線という幹線道路。それらを補完する補助幹線道路、そして、身近な生活道路。総延長にして約26kmに及ぶ道路と、駅前広場2箇所。総面積にして2.7haの公園（15箇所）。そして宅地整備。それらに伴い、公益施設も出来ました。東灘山手地区は、清閑な住宅地の雰囲気を残しながら、町並みも生まれ変わったのです。

<整備された諸施設>

<弓場線>



<雨ノ神公園>



<せせらぎ>



<公益施設>



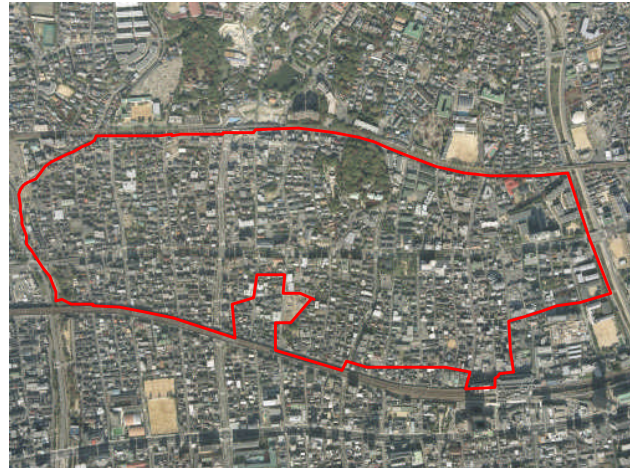
当地区の45年のまちづくりには、様々な経緯がありました。神戸市は、昭和42年に大水害に見舞われ、その約30年後には阪神・淡路大震災に見舞われました。

不幸中の幸いなのかもかもしれませんが、地震の際には山手幹線も全線開通しており、事業もある程度の進捗をみておりましたので、全市的に交通が遮断される中、特に山手幹線は物資運搬、人材移動の面からも、一定の役割を果たしたと思います。

まちづくりでは、安全・安心なまちをつくるということが大切であり、幹線道路には、こういう災害時における役割もあるのです。しかし、安全・安心

なまちとは、そういうハード面の充実だけでなく、そこに住む人の温かさ・ハートも不可欠なのではないでしょうか。地域の方と話をする中で、「区画整理移転で、家が新しくなったおかげで命が助かった」という人もおられ、嬉しく思いました。さらに感激したのは、市内西部の被災地に向かい、心配顔で道を行く人に、当地区の人達が山手幹線沿いで、暖かいコーヒーを振舞っておられたという話も聞けたことです。これは地域に、温かさ・ハートがあふれている証ではないでしょうか。

<整備後の地区全貌>



地域の人が、自分たちのまちの将来像を考え、まとめ、提案する。そして市が、その構想を最大限尊重しながら実現に努めるという「まちづくり協議会方式」。今でこそ全国的にも定着したこの方式が、東灘山手地区のまちを変えたのです。このように協働でつくりあげてきたまちこそが、地域の人にとって愛着のある、住み続けたい、人に対しても優しい、安全・安心なまちになるのだと思います。

○終わりに

今、1つの区切りを迎え思うのは、まちづくりは行政だけでは出来ない、地域とともに進めないといまちはならないという当たり前のことでした。そして東灘山手地区のまちづくりが出来たのは、まさに「協働」のおかげであるということでした。

改めて地域の皆さんの頑張りに敬意を表し、感謝するとともに、東灘山手地区が益々、安全・安心なまちに育っていくことを期待しております。

こうべまちづくりセンターレポート『宙(そら)』 最新刊のお知らせ

こうべまちづくりセンターでは、2003(平成15)年にセンターレポート「宙(そら)」を創刊し、これまで5巻にわたり、神戸のまちやまちづくりに関する様々なテーマについて特集記事を掲載してきました。

今春3月に発行した最新刊(Vol.6)は、「歴史」をキーワードに神戸のまちを読み解く『歴史から読み解く神戸のまち』と、こうべまちづくり学校で語られた「まちづくりの自立と継続のための人や組織にまつわる秘訣」を綴った『まちづくりを支える人の輪づくり』の2つの特集で構成されており、神戸のまちの魅力や、そこで展開される様々なまちづくり活動の工夫やコツが感じられる一書となっています。また、このVol.6より、当センターの活動のPRコーナーとして「まちセンレポート」を設けるなど構成を新たにしております。これからも、まちづくりや神戸のまちに関する旬のテーマを取り上げ、親しまれるセンターレポートを目指して参りたいと考えております。

宙は、まちづくり会館5階事務室で販売しています。遠方の方は発送も承ります。くわしくは下記URLまたは会館まで。

<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/Ourban/sora/sora.html>



Vol.1	神戸のまちづくり50年を振り返る(2003.4)	700円
Vol.2	神戸のまちづくり参加のレシピ(ワークショップの本)(2005.4)【完売済み】	
Vol.3	特集あーばんとーく100号記念(まちづくりア・ラ・カルト)(2006.5)	800円
Vol.4	まちづくりの宙と波(2008.3)	1000円
Vol.5	神戸-そのまちの近代と市街地形成-(2010.3)	1000円
Vol.6	まちを読み解く(2011.3)	500円

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

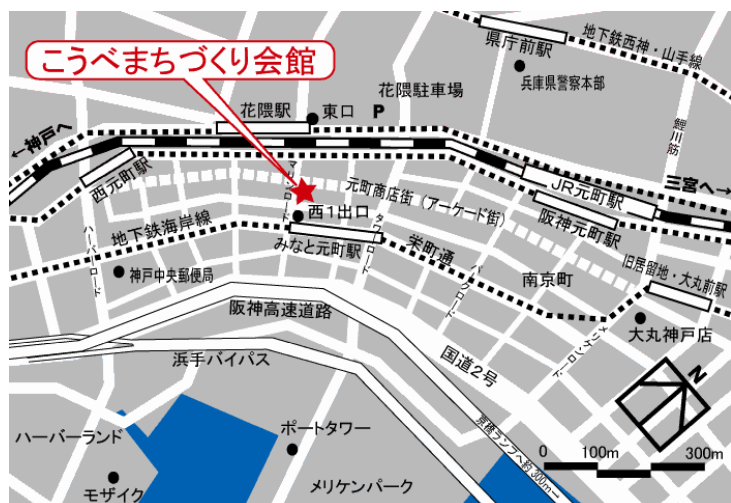
※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
6/2(木) ~ 6/21(火)	土砂災害防止月間パネル展	神戸市建設局
6/23(木) ~ 7/12(火)	神戸マラソン大会/第19回アジア陸上競技選手権兵庫・神戸大会	神戸市教育委員会
7/14(木) ~ 7/26(火)	みち、みず、みどりの学校/交通安全総点検	神戸市建設局

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主 催 者
6/2(木) ~ 6/7(火)	第9回 神戸高校2回生 作品展 〈油彩・水彩等〉	神戸高校2回生
6/9(木) ~ 6/14(火)	光彩会 絵画展 〈油彩・水彩等〉	光彩会
6/16(木) ~ 6/21(火)	第18回 丹水会展 〈水彩〉	丹水会
6/24(金) ~ 6/28(火)	風の会 作品展 〈水彩〉	風の会
6/30(木) ~ 7/5(火)	第9回 そらいろの会 絵画展 〈油彩・水彩等〉	そらいろの会
7/8(金) ~ 7/12(火)	アルペジオ 合同作品展 〈油彩・水彩等〉	アートフォーラム アルペジオ
7/15(金) ~ 7/19(火)	のむら・アート・るーむ 作品展 2011 〈油彩・水彩等〉	のむら・アート・るーむ



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565